

村民との対話を重視



私は就任当初から「村政の基本は住民との対話である」と考え、集落ごとの出張座談会の開催や、役場玄関横に出張村長室を開設するなど、村民の声を聞くことに努めてきました。

また、職員との定期的なアフターランチミーティングなどにより“風通しのよい職場づくり”とともに、職員の意欲向上にもつながっています。

行財政改革の取り組み

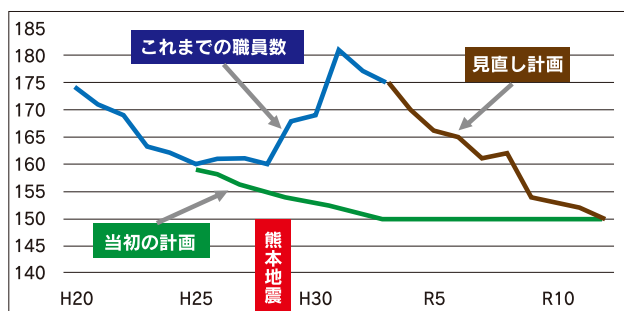
合併後の大型建設事業や熊本地震の影響で厳しい財政運営を強いられています。この状態を打開すべく、村長15%、副村長・教育長10%の給与をカットし、改革に向け強い姿勢で臨んでいます。

これまでに取り組んだ改革

- ・旧村毎にあった第3セクターを統合
- ・納税組合を廃止（税徴収の公平化）
- ・研修バスを廃止（白タク行為是正）
- ・証明書発行手数料を200円→300円
- ・職員異動基準を明確化、審議員は一部を除き廃止

これから行う改革

- ・ふるさと納税強化で税収アップ
 - ・村有施設の民営化および売却
 - ・役場組織再編成による効率化
 - ・あらゆる事務事業の見直し
- 例：行政事務の一部民間委託、デジタル化
- ・震災対応で膨らんだ職員数を適正数へ



IT専門学校を誘致



長陽保健センターに、IT専門学校が令和4年4月に開校します。コンセプトは“おもてなしの人材育成”であり、最大で160名規模の、ITに特化した学校です。

先進事例として、地域振興につながるようバックアップいたします。

「あそ望の郷」を機能拡張



慢性的な駐車場不足を解消するため、また、新阿蘇大橋の開通に合わせ、駐車場の整備を行っています。

村の観光拠点として、さらに、新型コロナによる観光スタイルの変化にも対応できるような施設を目指します。

白水地区小学校を統合



統合につきましては、校区の皆様のご理解とご協力のお陰でスムーズに進んでおり、感謝申し上げます。

スクールバスが写真手前の村道から真っ直ぐ小学校まで行けるよう、道路拡幅も同時に行っています。